



# サロンあべの

## ワークショップを楽しもう!!

### 自己理解と他者理解について

サロン・あべの9月の出会い

平成22年9月18日(土) (サ

ロン・あべの)9月の出会いは、

育徳コミュニティセンター2

階研修室において、「ワークシ

ョップを楽しもう!!自己理解

と他者理解について」と題して、

ワークショップデザイナー・宮

脇淳さんに、ワークショップの

お話を伺い、参加者同士でワー

クショップの体験を行いました。

・ワークショップとは

ワークショップは、「参加型

学習」「参加体験型学習」など

といわれます。学習者は単なる

受け手ではなく、主体的、積極  
的に場に参加し、さまざまな学  
習活動を体験し、そこで気づい  
たことや考えたことを相互にや  
りとりしながら、学びを深めて  
いきます。

近年、学習場面に限らず、ま  
ちづくりや組織運営など、さま  
ざまな分野でワークショップが  
用いられています。"WORK  
SHOP"とはもともと「工房  
作業場」という意味で、つまり  
何かをつくり出す場所というこ  
とです。学習におけるワークシ  
ョップとは、参加者が自ら学び  
をつくり出す場、という意味で  
す。

・その場にいる人たちの多様性  
から学ぶ

多様性を学ぶのに特別に事例  
を用意することもあります。け  
れども、忘れてはならないのは、  
その場にいる参加者の中にすで  
に多様性があるということです。  
さらにいえば、私たち一人ひと  
りの内側に多様な側面がありま  
す。

「同じ地域」に暮らしている、  
「同じ職場」で働いている、「同  
じ講座」に参加している、



そんな私たちの間にも、さまざまな違いがある。このあたり前のことを振り返ることが多様性を学ぶ第一歩です。違っていていることが生きにくさにつながってしまうのはなぜか。どんな違いが社会の中で差別につながっているのか。身近なところから社会へと視点を広げていきます。

・ワークショップ体験

まず、自分の好きな名前をシールに書いて服に貼っていきます。そして隣同士の2人がペアになり、次の4項目でお互いの自己紹介を行います。

(自分の名前、好きな食べ物、趣味、最近楽しかったこと)

お互いの自己紹介が終わったあとにペア3組計6人が一組になって、一人ひとりが、元々のペア相手の紹介を周り人に行いました。相手のことを紹介した後でも、それぞれの組で話が広がっていきました。

次に、6人1組のまま、裏向きになった数字の書かれたカードの中から好きなカードを引いていきます。カードの番号は「から50で、人には見せず自分しか知らない状

態です。

「数字が大きいほど人気がある人」という題目がでます。この題目をもとに、一人づつ持っている番号からイメージされる人を書いていきます。周りの人が、このヒントでその人の持っている番号を当てるといいうゲームです。持っている人の番号が一番近い番号を言った人が勝ちです。

その後、自分の得意技若しくは達人技を紙に書いていきます。そして、一人ひとり参加者が発表されます。編み物、掃除、寝ることなど、人それぞれの得意技が紹介されました。

ワークショップの後、参加者から感想や意見を聞きました。

「初対面の人でも楽しく話せた。」  
「ワークショップの手法を日常でも使いたい。」など。

今日の自己紹介の項目は、自分が好きなものなど答えやすい項目で行われました。

ワークショップで自分を振り返ることができ、自分や相手の良いところに気づくことができると、自己理解・他者理解の大切さを学んだサロン・あべの9月の出会いでした。  
(参加者28名 山村貴司)

お知らせ

<サロン・あべの>11月の出会い

- 内容：「備えあれば憂いなし」  
～地域防災の取り組みについて～
- お客さま：岡本 正敏氏（地域福祉推進委員会会長・WAK2代表）
- 日時：11月20日（土）  
午後1時～4時、
- 場所：育徳コミュニティーセンター、  
2階・研修室  
[大阪市阿倍野区阪南町5-15-28、06-6621-1901]
- 会費：なし

<サロン・あべの>12月の予告

- 内容：「おいしいパスタとチーズフォンデュ」で出会いませんか？
- 日時：12月4日（土）  
午後1時～2時30分
- 場所：Cucina Italiana「オルガニコ」  
[大阪市阿倍野区昭和町1-15-6-1F、06-6623-3772]
- 参加費：2,500円
- 申込み締切り日：11月30日（火）
- 11月、12月の問合せ先…TEL06-6691-1028 (富田慶子)

## 美智子のこんな話

岸田美智子

熱いっ!!

### 対府オールラウンド交渉!!

8月3日、毎年行われる障大連の大阪府に対するオールラウンド交渉がありました。障大連に所属する大阪府下の各団体が、一堂に結集する迫力のある場です。当日の参加者は約500人だったそうです。

第1日目は介護、施設、CH・住宅、自立支援作業所の各部署との交渉を行いました。介護の部分が一番時間が長く、午前中は介護の部分で意見が白熱しました。

盲ろう者の通訳介助について

1日8時間以内という制限があり、8時間を使い切った後に体調が悪くなり病院にいきたくてもいけない、とか友人が亡くなってもお通夜にもいけないなどの切実な声があがっていました。その必要性によって柔軟な使い方が出来なのか、ぜひ検討してもらいたいものです。

### 入院時コミュニケーションサポート事業

入院時の身体介護は、病院の役割とされていますが実際の対応は全く不十分で、特に知的の方の多動に対応できないため入院を拒否されたり、言語障害や緊張がある脳性まひ等の対応も慣れていないため、介助者同行を病院側が要求してくるケースもあるという厳しい現実が報告されていました。

体調が悪くなったときは、指示が出来なくなるので慣れた介助者がぜひとも必要です。命に関わる制度が十分でないことは、地域での自立生活を維持することが出来なくなることになります。1日でも早く安心した地域での自立生活を支えていける制度になっていって欲

しいものです。

最後に、地域の障害者運動を支えてきた作業所制度が今年度で打ち切られることになりそうです。大阪府は今後、パブリックコメントを求めていくと言っていますが、地域での障害者運動を根こそぎつぶしかねない動きだと危機感を持った熱い一日でした。



# 十分に幸せな人生

お母さん、痩せて口もきけなくなつたお父さんを見て「かわいそうに」という口癖は、もうよしませんか。お父さんはもう十分に幸せな人生をおくつてきたように思います。八十年以上も生きてきて、まずまずの生涯だったではありませんか。ここで「かわいそう」と思うのは、家に温かく迎えられるのに、いよいよ帰る時間になつたら、不平を言い始める客のようなものではないでしょうか。

赤ん坊は、泣いて生まれますね。狭い産道を通るのが痛かつたのでしょうか。でも

生まれたことを喜ぶ人たちに囲まれて、やがて赤ん坊は泣くのをやめて、すやすやと安らかな眠りにつきます。私の二人の息子たちもそうでした。「赤ちゃんはもつと泣くものだと思っていました」と言う私に、助産師さんは「赤ちゃんは安心していいのです。安心したら、泣くことはないのですよ」と教えてくれました。

生を始めたばかりの赤ちゃんが泣いていても、おだやかに笑っている家族に囲まれていれば、やがてすやすやと眠りに入ります。それとは似ていても、ちょうど逆の絵がここにはあるのです。生を終えようとして安らかに眠っているお父さんを、悲しそうに囲む家族がいます。しかし家族も穏やかにほほえんでお父さんのそばにいることができのなら、お父さんもつと安らかにその生を閉じることができるとはいでしょうか。

例えば、人が死なずにいる方法はたった一つしかありません。それは生まれたいことです。生まれなければ死ぬこともありません。逆に、いちど生まれたら必ず死ななければいけません。生まれたことが喜ぶべ

きことなら、死ぬこともまたそうでなければならぬのでしよう。まして安らかに死ぬことができるのなら、それは幸運であるにちがいません。

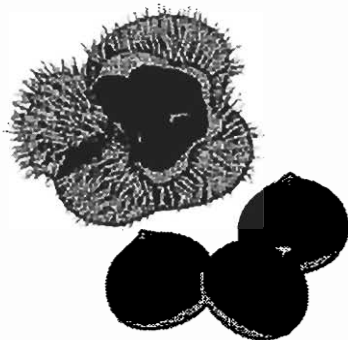
安らかに衰弱し死んでいく姿が、それでも悲しく思えるのなら、命がはちきれそうな子どもたちが元氣いっぱい遊び姿もまた悲しく思わなければいけません。なぜなら、その子どもたちもまた必ず死んでいくからです。そうではなく、その子どもたちを喜びを持って見つめることができるのなら、安らかに死んでいく人にも、やはり一種の喜びをもって（それはとても尋常ではない喜びには違いないのですが）そばにすることができるとは思いません。

「それは理屈にすぎない。死んでいく人の前に悲しく思わないはずはない」と思われるかもしれませんが、でも、その悲しみは「死んでいく」という悲しみではなく、別れの辛さではないでしょうか。

私もまた、静かに横たわる父を前に深い悲しみを感じますが、それは弱り果てた父の身体や心についての悲しみというより、父との別れを悲しんでいるように思います。

だから、お母さん、お父さんを「かわいそう」と言わないでくださいね。私たちはいつどんなふうにも死ぬ運命にあるのかわかりません。お父さんの場合はとても幸運だったのですよ。こんなに静かに、優しい妻に頬を撫（な）でもらいながら、ゆつくりとゆつくりとその生を終えようとしているのですから。

(知)



## 晴れのち晴れ

稲垣恵雄

### ■恩師を偲んで

先般、私の小学校5～6年生を受け持ってくださいましたU先生が老衰のためにお亡くなりになった。

当然ながらU先生はクラスのどの子に対しても平等に接しておられたが、身体の不自由な私には殊の外お世話をしてくださいました。でも決して特別扱いをされずに他の者と同様に接してくださいましたことが今でも忘れられない。

いつだったか、こんなことがあった。授業中に横の席のK君がいきなりノートの端に「幸せになろうね」と書いて私に見せるのである。ゲラの私は、それを見てくすくす笑ってしまった。そんなに大声で笑ったわけではないのだが、みんなは静かに書い

ていたのですぐに先生にも分かった。すると先生は「稲垣っ、まじめにせんか！」とこわい顔で叱られるのである。K君は素知らぬ顔をしていたが、私のくすくす笑いはピタッと止まり「すみません」とあやまった。

以前、私は学校や施設から依頼を受けて講演に行ったことがある。数年前に近くの福祉センターで講演をした時に、先生もわざわざ聞きに来て下さった。ちょうど2時間ほどで終わったが、先生は話の内容の批評や感想は一言もおっしゃらなかった。でも「稲垣に負けたわ」と言って立ち去って行かれたのである。どういう意味で言われたのか定かでないが、私はこの一言で先生に少しはご恩返しのできたのではないかと思っている。

U先生、いろいろお世話になりました。本当にありがとうございました。



中村かずみ

家族でアメリカ!

ケンタツキー州滞在記

12

10月31日はハロウィンです。

悪霊がうろつく日なので、仲間を装って仮装するんだとか。“TRICK or TREAT”「イタズラか、もてなしか」と言いながら訪ねると、知らない家でもお菓子をくれる決まりになっています。実家には、姉が母手作りのロビン君（バットマン）の衣装で幼稚園のお友達と映っています。ロサンゼルスでのハロウィンの写真があります。楽しそうでお菓子ももらえる、あこがれの行事でした。

最近では日本でも知られてきて、オレンジ色のカボチャ飾りや仮装を見かけるようにはなり

ました。もともと、本場のハロウィンは楽しいばかりでは無いようです……。

9月末、ハロウィン専用ショップが開店します。店頭には魔女や怪物の衣装、カボチャ飾りの型紙が並び、あらかしそと入るとなんと、コンロで人間の腕や生首が焼かれていますー勿論おもちゃですが血や断面の骨もリアル。スーパ一の棚にも目玉や指、耳そっくりのキャンディーが並び、それはそれは悪趣味ですが、定番のおふざけグッズなんだそうです。

料理雑誌もハロウィン特集で、蜘蛛や芋虫のケーキレシビが並びます。学校で芋虫グミをもらったというサキやコウジ、美味しかったそうです。なんて勇気のある！

住宅街の前庭も、この時期は気持ち悪くなります。巨大カボチャやカカシに混じって、墓石を持ち上げてゾンビが這い出てきていたり、木から骸骨が吊されて揺れていた。なんでも月末に庭先で首を吊った男性が、飾りと間違われる事件も起きたというくらい、ハロウィンの時期の街は屍体だらけでした。

学校からはレントゲンサービスのお知らせが。昨今は、お菓みに薬物や針を混入するイタズラがあるのだとか。知らない家に行かない、とい



忍者のカズキ&コウジ、妖精のサキがポーズ♪  
9ドル~19ドル程で買いました



お友達の人魚姫、ドナルド、お猿と。暗やみに忍者もいます。

う注意だけでなく、希望なら針の有無が調べられるという実地的なサポートは驚きでした。

さて、我が家でも早々に子供たちの衣装を用意しましたーでもレントゲンのお世話になるのは御免です。そこで滞在の長い方にご案内いただいた、大勢で高級住宅街まで遠征をしました。何十軒もの豪邸がそれぞれの趣向で出迎えてくれるのです。

お金持ちの皆さんもノリノリで、屋敷や庭の飾り付けは勿論のこと、ご自分も魔女の扮装で大鍋からお菓子を出してくれたり、モンスタ―だったり。準備の手間や、何時間も配り続ける苦勞に頭が下がりがつ、喜ぶ妖精や忍者、人魚お猿ミツバチをぞろぞろと引き連れて楽しませていただきました！

車社会レキシントン、豪邸の前とはいえ街路に照明がありません。その日も6時頃からとつぷりと暮れ、友達が宇宙人と入れ替わっても分からないぐらい暗くなってきました（この時期の子供向けテレビ、そういう怖い話ばかり）。すると、子供達のコスチュームがあちこちで光ります。忍者も夜光塗料でチカチカ、親は安心ですね！

最後に教会主催の臨時遊園地で遊んで、本場

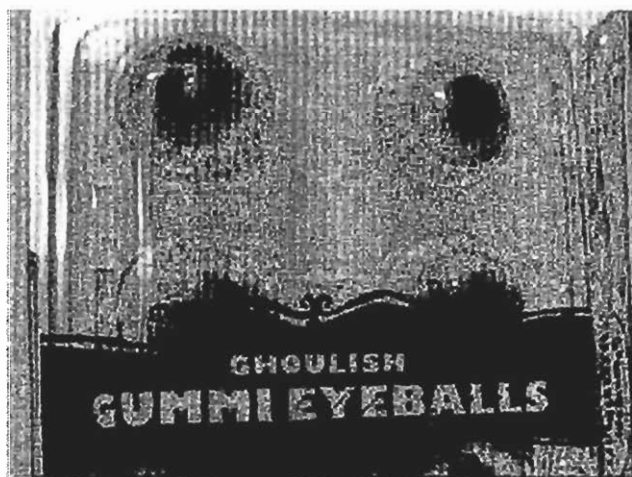
のハロウィンはお終い。バケツ満杯のお菓子の大喜びの子供たちでしたが、半分以上はアメリカの味で食べられず！（主人の職場で学生さんのおやつになりました）でもそれも含めて、いい思い出です。

翌月1日からはウィンタータイム。朝の時間が早くなり、日の出前に登校する秋が始まります。

（\*ハロウィンな映画紹介\*）  
「ナイトメアピフォークリスマス」（1994年76分）

ハロウィンの街の王子様ジャックが、あこがれのクリスマスとかいうものをやってみたくて大騒ぎ。デイズニアニメですが、ミッキーマウスとはひと味違います。

主人公ジャックも仲間も、誰も彼もバケモノでジャック本人もガイコツ！でもだんだん、可愛らしく見えてくるのが不思議です。



血走る目玉のお菓子です～





11月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いませんか。

■「サロン淀川」11月の出会い

日時：11月21日(土) 午後1時30分～4時

内容：「伝統音楽で心を癒す」

～和楽器の素晴らしさを聴いて楽しむ～

ゲスト：高岡一輝氏(尺八奏者)

場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3

会費：なし

問合せ先：淀川区社会福祉協議会(ボランティア・ビュー  
ロー)

☎06-6394-2900

■「サロンにしよど」11月の出会い

日時：11月27日(土) 13時～15時

内容：未定

場所：未定

問合せ先：中本☎090-9864-9678

■「サロンにし」11月の出会い

日時：11月13日(土) 午後2時～4時

内容：消費者のための「おもしろデザイン学ワークシ  
ョップ」デザインの読みとき

能力を高めて、「かしこい消費」をしよう!!

講師：岩田直樹さん(ワークショップデザイナー)

場所：西区在宅サービスセンター(西区役所6階)第  
1会議室

大阪市西区新町4-5-14、06-6539  
-8075

会費：なし

問合せ先：宮脇淳☎090-3949-6973

■「ウイズ東淀川」11月の出会い

日時：11月14日(日) 午後1時30分～4時

内容：未定

ゲスト：未定

場所：NPO法人自由空間クラブ

大阪市東淀川区淡路2丁目

会費：なし

連絡先：鈴木昭二☎06-6340-3082

■「サロンいたみ」11月の出会いはお休みです。

サロン・あべの毎月の感謝

カンパ、飲み物、お菓子等と、  
バザー用品のご寄贈等、  
ありがとうございました。

カスタネット、網谷保子、石田美禰子、  
大下エリ子、奥田久子、小西京子、  
崎本ヒサエ、田尻豊子、平岡太、  
町野旬子、安居章、その他の方、  
(敬称略)

<サロン・あべの>Vol.292 発行：平成22年(2010年)10月16日 定価¥100  
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆  
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941  
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212  
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/「サロン・あべの」でも検索できます